

## 「青春」に寄せる思い

千代南中学校の校歌は、今までにない新しい形の校歌であり、新設校である本校にふさわしいものであると感じています。また、生徒にとっても親しみやすいものになっています。

この校歌の作詞を手がけられた伊藤學さんが校歌策定について話された時、この歌詞で最も伝えたい言葉は「青春」であると話されていました。また、「“青春”をあらわす言葉は、“青春”以外にない。」とも話されていました。校歌1番には「青春の風 さわやかに」、2番には「青春の心(むね)ときめきて」、3番には「青春の歌 高らかに」とそれぞれの連の締めくくりの言葉として配置されています。本校校歌のキーワードは、「青春」であります。

「青春」とは、古代中国で、季節を表す言葉として使われていた「青春」「朱夏」「白秋」「玄冬」に起因する言葉であり、これが転じて、日本では特に「青春」は、人生における若く未熟で、しかしながら元気で力に溢れた時代を指すようになったものです。

新設校である本校は、まさに「青春」そのものです。校歌に込められた思いを感じ、充実した青春の時を過ごしてほしいと願っています。